

# 2018年度 環境行動計画表

(制定:2018年4月1日)

結城運輸倉庫株式会社

項目(大項目)	2017年度の評価・課題(目的)	2018年度の実施計画(達成目標)	行動項目	達成時期	責任者	取組評価
環境保全のための仕組み・体制の整備	2017年度環境行動は実施計画通りに推移し、環境教育を主体に環境行動の意義・必要性を理解した。 ・グリーン経営認証更新審査・定期審査完了。 ・グリーンエコプロジェクト全拠点で活動継続。 ・東京都貨物輸送評価制度☆☆取得	全乗務員対象。年4回、環境教育を実施。該当月の安全衛生会議にて、全社統一の資料を用い行う。	・教育内容 ①「グリーン・エコプロジェクト」活動。 ②車輦の点検整備について。 ③4R(Refuse,Reduce,Reuse,Recycle)の実践。 ④環境法規制。	5月「グリーン・エコプロジェクト」 7月 車輦点検・整備 9月 4Rの実践 1月 環境法規制	環境保全推進責任者 環境保全管理責任者(所長)	
	3月29日 安全方針説明会にて、全管理職へ環境行動計画を説明した。 ・公共の福祉に資する企業として、廃棄物の正しい処理を100%行うことを課題とし、10月の調査で全拠点規定通り正しい処理の実施を確認した。	3月9日 経営方針説明会にて、2018年度環境行動計画を説明する。	・環境方針 ・環境行動計画 ・グリーン経営更新 ・『東京都貨物輸送評価制度』申請。	3月9日 経営方針説明会		
	グループ長定例会議において『CSR環境活動』『環境行動計画』『燃費向上のスキル』『タイヤの空気圧適正管理』を講義。グループミーティングを通じて知識の共有を図った。 関東・静岡_4/26、10/25 東北_4/24、11/10 合計27名参加。	年2回行われるグループ長定例会議にて環境教育を行う。	教育内容 ・CSR環境活動 ・環境行動計画 ・燃費向上のスキル ・その他	グループ長定例会議 開催時期 上期_4月 下期_10月		
エコドライブの実施(最重要実施項目)	・7月_東京都貨物輸送評価制度『☆☆』取得。 ・2017年度燃費目標_全社平均3.57Km/L達成に向けエコドライブ活動を行った。結果全社平均実績_3.54Km/L(2018年1月末)※2016年度実績_3.53Km/L ・交通エコロジー・モビリティ財団より『エコドライブ優良活動認定証』授与された。	・東京都貨物輸送評価制度☆☆☆獲得 また取得した評価を意識する。 ・グリーン・エコプロジェクト活動継続 2018年度目標燃費_3.57Km/L ・『エコドライブ優良活動認定証』取得。	・2018年度目標燃費達成 最新の評価ステッカーを車輦に貼る。 ・走行管理表を一日の振り返りの材料にする。 ・環境教育内容「グリーン・エコプロジェクト」 ・エコドライブ活動コンクール申請	3月まで継続して実施。	環境保全管理責任者(所長) エコドライブ責任者	
	・安全衛生会議資料の『燃費実績集計表』と、乗務後記入する『走行管理表』を用いて、燃費で「一日の振り返り」をうながす教育を行った。目標燃費は未達だが、年間平均燃費前年比+0.01%達成	・『目標燃費3.57Km/L』を達成。 ※過去1年間の全社平均燃費に1%を掛けた値	・エコドライブ活動の積極的推進により、燃費の向上、燃料費抑制、無駄の排除による省資源化に努める。			
低公害車の導入	・2017年度_5台のポスト新長期規制車を導入。 ・『低燃費かつ低排出ガス認定』の車両は41台。当社保有車両全体の19.6%となった。	・今年度は6台のポスト新長期規制車を導入し、当社保有車両における「低燃費かつ低排出ガス認定車」の割合を全体の22.4%とする。	・2018年度車輦計画に拠る。	2018年度	経営企画部長	
自動車の点検・整備	・各営業所、車輦点検予定を一覧表で管理。車検・3ヶ月点検期限、点検入庫予定日を記入し計画的に管理している。点検後完了日を記入し点検漏れを防ぐ体制を整えている。 ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアエレメントも、基準の交換時期を過ぎてしまうことの無いよう工夫して管理し、基準を達成出来た。	・点検整備基準表に沿った車輦点検・整備。 ・基準計画通りに車輦点検・整備が行われているか、内部監査時チェックする。	・月次車輦自主点検励行。(黒煙濃度、エアコン効き方、タイヤ空気圧) ・エンジンオイル、オイルエレメント、エアエレメント交換が適正な時期に行われているかをチェックする。 ・DPF,尿素SCR点検を確実にし、運行中の不具合防止につなげる。	点検整備:日常点検、月次点検、点検整備管理表	環境保全推進責任者 環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者	
	・7月度安全衛生会議にて『タイヤの適正管理』について教育を実施。タイヤの空気圧を適正に維持しない場合の危険性(ハイドロプレーニング現象)を学んだ。	・安全衛生会議にて、車輦点検・整備の教育を行う。	・教育内容_具体的な車輦点検・整備の方法、注意点について。	環境教育:7月 車輦点検・整備		
廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進	・廃タイヤ_(株)国分商会 ・冬用タイヤへの変更は、従来新品のスタッドレスタイヤを必要本数購入していたが、再生タイヤを導入し、リサイクルとコスト削減を図った。 ・廃バッテリー_営業所毎に適正処理。 manifests または引き取り業者が証明出来る書類有り。	・manifests伝票管理。 ・内部監査時廃棄物処理状況を確認。 ・廃バッテリーについて、適正処理を行っているか確認する。 ・再生タイヤ導入を継続する。 ・全乗務員対象。安全衛生会議にて、リサイクル推進の教育を行う。	・廃タイヤ、廃バッテリー、廃LLC処理に係るmanifestsや引き取り伝票の整理、引き取り業者が証明出来る書類を整理する。 ・安全衛生会議にて『4R』について教育を行う。	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:9月 4Rの実践	環境保全管理責任者(所長) 点検整備管理者	
管理部門(事務所)における環境保全の推進	・各営業所環境保全活動項目②③④⑤を積極的に行っている。	・事務所における環境保全活動推進。 ・安全衛生会議にて環境法規制について教育を行う。	・環境保全活動項目 ①グリーン購入 ②不必要な照明の消灯 ③空調機器を適正温度に設定 ④コピー用紙等の紙使用量の削減 ⑤分別回収ボックスを設置し、分別回収に努める ⑥使い捨て製品の購入を控える	・年間を通じて継続して行う。 ・環境教育:1月 環境法規制	環境保全管理責任者(所長)	

○個別的な取り組み

グリーン経営/交通エコモ財団

※更新審査取得目標 栃木営業所、群馬営業所、静岡営業所、藤枝営業所、王子営業所、潮見営業所、五井営業所、鹿島営業所

※定期審査取得目標 秋田営業所、酒田営業所、仙台営業所、小名浜営業所、郡山営業所

グリーンエコプロジェクト/東京都トラック協会

※継続セミナー 本社安全管理部 王子営業所

東京都貨物輸送評価制度

※昨年度以上の星獲得を目指す(昨年度は☆☆獲得)

※達成時期において取組の検証を行い、その結果を○、△、×で取組評価に記載する

(○:実行している、△:ある程度実行している、×:あまり実行できていない)

※この計画表は、本社安全管理部(環境保全推進体制事務局)にて作成し、全社統一のものとする。